

 シラバス参照

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

授業基本情報	授業概要情報	授業計画詳細情報
授業科目名 / Course title	実践・宇都宮のまちづくり / Introduction to Utsunomiya City Government	
代表教員名 / Instructor	馬場 将広 (その他)	
代表以外の教員名 / Other Instructor or		
授業種別 / Type of class	講義	
時間割コード / Registration Code	G845180	
ナンバリング / Numbering	1350501F	
開講学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First semester	
開講曜日 時限 / Class period	水 / Wed 7, 水 / Wed 8	
単位数 / Credits	2	
科目等履修生の受入 / Acceptance of Credited Auditors	受入可	
連絡先 / Contact	馬場 将広(連絡担当: 加藤 電話: 028-632-2059 e-mail: miyaken@city.utsunomiya.tochigi.jp)	
オフィスアワー / Office hours	馬場 将広(毎回の授業直後。また、市役所の開庁時間であれば電話やメールで個別相談にも 応じます。)	

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

授業基本情報	授業概要情報	授業計画詳細情報
更新日 / Date of Renewal	2022/01/05	
AL度 / Active Learning	AL50	
実務家による授業回数 / Course Count	15回	
実務経験の内容、及び当該授業への実務経験の活かし方 / Instructor's practical experience and how it is utilized for this course	本講座では、各実務担当者が講義します。	
地域に関する実践項目 / Practice Courses	○	
授業の内容 / Course Description	<p>人口減少や高齢化などによる地域社会の変容に対応した持続可能なまちをつくるために、宇都宮市がどのような政策を立案・実行しているのかを、市職員が実体験を交えながら講義します。データや情報と実社会での行政活動との融合を理解するアクティブ・ラーニング科目です。最終回には、宇都宮市長がまちづくり全般について授業を行う予定です。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況等により本授業のすべてまたは一部をオンラインに変更した場合は授業内容について変更になる場合があります。 ※※宇都宮市職員（公務員）を目指す方には、特におすすめです※※</p> <p>この授業の目標は、みなさんの身近な自治体である宇都宮市が行っているまちづくりを知ることです。市は様々な分野のまちづくりに関わっています。市の幅広い活動を知ること、なにげない日常生活の中で本市の取り組みに触れていることに気づくと思います。この「気づき」を活かし、各自が地域社会に対する理解を深めると同時に、本市のまちづくりに参画するきっかけにしてほしいと思います。</p> <p>本授業では、宇都宮市の現状・課題および施策事業に関する学習を通して、地域社会への関心や理解を深めることが期待されています。これは教養科目および総合系科目が目標とする、視野を広げること、豊かな人間性を育むこと、実践に繋げられる知識に基づいた“あらたな社会”創りを志向することのいずれにも対応しています。</p>	
授業の到達目標 / Course Goals		
学修・教育目標との関連 / Educational Goals		
前提とする知識 / Prerequisites	特にありません	
関連科目 / Related Courses	特にありません	
授業の具体的な進め方 / Course Methodologies	テーマごとに、第一線で活躍する各担当課職員がスライドやDVD教材等を用いて講義します。受講生同士の討論や発表の機会を設けるなど、積極的な発言を期待しています。	
教科書・参考書等 / Textbooks	講師が作成するテキストや行政資料等（授業の際に配布します）	
成績評価の方法 / Evaluation	出席と講義中に与えられる小課題レポート、期末試験の成績を総合して評価します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況等により本授業のすべてまたは一部をオンラインに変更した場合の成績評価については、必要に応じて別途示します。	
学習上の助言 / Learning Advice	授業では資源・施設・取組み等を多数紹介します。是非現地に足を運び、実物・現状にふれてほしいと思います。	
キーワード / Keywords	まちづくり、宇都宮市、公務員	
SDGsとの関連 / Related SDGs	 <p>色の有無に関わらず、17のゴールは相互につながり、関係しています。色がついているゴールはこの授業において特に関連しているゴールです。</p>	
3C 到達度チェック / 3C evaluation for achievement items	3C	9つの力

Challenge 主体的に挑戦する	課題を見つけ出す力	Problem identification	
	論理的に考える力	Critical thinking	
情報を使いこなす力	Information literacy	○	
Change 自らを変える	表現する力	Communication	
	他者と協同する力	Collaboration	○
	キャリアデザイン力	Life and career	
Contribution 社会に貢献する	生み出す力	Creativity	◎
	チームワークを育む力	Teamwork	
	地域に踏み出す力	Citizenship	◎

備考
/Notes

本講義の内容は、第6次宇都宮市総合計画に掲げる政策の柱「6つ未来都市」に対応して組み立てられています。第6次宇都宮市総合計画における取組の方向性とSDGsの理念や目標は概ね合致していることから、SDGsのすべてのゴールに関連しているといえます。今後の新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン授業に変更する可能性があります。感染状況が拡大し、AB日程となった場合は、【A日程・B日程・別日程】で行います。

シラバス参照

授業情報 / Course Information

2022/03/10 現在

授業基本情報

授業概要情報

授業計画詳細情報

回 /Time (Date and Time)	授業計画 /Class Schedule	授業時間外学修(予習および復習) /Preparation and Review	標準学修時間(分) /Expected time commitment (min)
1	宇都宮市のまちづくり～総合計画と未来都市うつのみや～	本授業のシラバスの内容を確認する。	30
2	魅力創造・交流の未来都市①～都市ブランド・都市魅力～	「都市ブランド」の概念と、宇都宮市にあるプロスポーツを調べる。	30
3	魅力創造・交流の未来都市②～観光振興・文化振興～	宇都宮市もしくは自分の出身地の観光資源や文化資源を3つ以上調べる。	30
4	都市空間・交通の未来都市①～ネットワーク型コンパクトシティと都市計画/景観～	「都市計画」「景観」の言葉の意味について調べる。	30
5	都市空間・交通の未来都市②～交通ネットワーク～	宇都宮市が整備している次世代型路面電車とは何か調べる。/公共交通(バスなど)を使う際に感じることについて自分の意見をまとめておく。	30
6	都市空間・交通の未来都市③～地域政策～	宇都宮市の「中心市街地」がどこか調べる。宇都宮市もしくは自分の出身地の中心市街地(まちなか)にあったらよい機能を考える。	30
7	健康・福祉の未来都市～健康づくり・高齢者福祉～	「健康寿命」と「地域包括ケアシステム」の概念について調べる。	30
8	子育て・教育の未来都市①～子育て・子育て支援～安全・安心の未来都市①～男女共同参画～	少子化の言葉の意味と、宇都宮市の合計特殊出生率を調べる。「男女共同参画社会」とはどのような社会か調べる。	30
9	安全・安心の未来都市②～市民が主役のまちづくり～	これまでに自分が関わった「まちづくり活動」は何か考え、その時感じたことについて自分の意見をまとめておく。	30
10	安全・安心の未来都市③～防犯・防災～	防犯・防災に対する取組として自分が行うことができることは何かを考える。	30
11	子育て・教育の未来都市②～生涯学習～	「生涯学習」の言葉の意味を調べ、自分が学んでみたいことを考える。	30
12	産業・環境の未来都市②～地域産業・農業振興～	宇都宮大学発のベンチャー企業を調べる/宇都宮市もしくは自分の出身地の農産物を複数調べる。	30
13	産業・環境の未来都市①～環境都市・SDGs～	SDGsの概念について調べる。/環境にやさしい取組として自分ができていることを考えておく。	30
14	政策の柱を支える行政経営基盤を確立する～財政～ICT環境基盤の構築～情報政策～	「財政」「ICT」の言葉の意味について調べる。	30
15	「未来都市うつのみや」の実現に向けて(市長講義) 期末試験	これまでの授業内容を復習し、市長への質問項目を考える。	30

※公務の都合により日程変更の可能性あり。 ※全15週終了後、期末試験を実施する。

① 1単位当たりの標準学習時間は45時間であり、授業外学修時間(予習・復習)や教育効果を踏まえて、授業の形態に応じ、15時間から45時間までの範囲で授業時間を設定しています。そのため、学生は授業時間以外に最大で30時間、自律的に予習・復習を行う必要があります。

② 学士課程のシラバスには、授業内外における主体的な学びの促進を目的に、授業時間外学修の基礎となる内容と標準学修時間を記載していますので、これを参考として①の主旨を踏まえ適切に予習・復習を行ってください。